

大久保病院新聞

令和3年(2021年)12月20日発行(第160号)

発行所: 大久保病院 (TEL: 045-788-6565)

日本小児科学会認定専門医、日本糖尿病学会認定専門医

所在地: 横浜市金沢区六浦南2丁目42番18号

<https://clinic-ookubo.com> TEL:045-788-6565

新型コロナウイルス感染症対策で暮れた1年

昨年(2020年)2月から始まった新型コロナウイルスの流行は、図1の如く第1波より第5波と続き本年12月に入り、新しい変異種(オミクロン株)が世界的に流行し、今後日本でも第6波の流行が予想されています。

1年の終わりに、このウイルスの流行経過と、当院のその対応を振り返ってみました。

1) コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況:

新型コロナ感染症の流行は、日本においては2020年(令和2年)2月に始まり、その後その年に、第2波、第3波と流行しました。2021年(令和3年)に入り、4月に第4波、7月に第5波と流行を繰り返しました。

第5波は、デルタ変異種が主体の流行で、7月11日に東京都に、8月2日に神奈川県に緊急事態宣言が発令されました。第5波の新規陽性者数は、第1~第4波の数倍で、8月20日にそのピーク(25,975人/日)となり、9月に入り急速に減少し、10月1日(1371人/日)には、緊急事態宣言が解除されました。11月になりクラスターの発生も著名に減じ感染者数が100人/日前後落ち着いています。

この第5波では、医療状況は、危機的な状態に陥り、重症者用のベッドが満床となり、多くの人が自宅で療養となり、一部の人は自宅で亡くなりました。

2) COVID-19に対する当院の対応:

2-1) 当院は、「発熱診療等医療機関」として昨年(2020年11月24日)より当院をかかりつけ医としている方を対象に対応してきました。具体的には、午前中1時間(11:00~12:00)、午後1時間(16:00~17:00)を発熱感染外来診療時間帯とし、十分な換気と、感染防護対策をしてコロナ感染疑いの患者の診療を続けてきました。

2-2) 新型コロナウイルス感染症の確定診断は、次のようにしました。

① 2021年8月中旬までは新型コロナ感染が疑わしい患者を各区医師会検査所に紹介してPCR検査依頼して確定診断をしました。検査結果の報告は、翌日夕方までに受け、直ちにその情報を福祉センターに報告しました。

② 2021年8月中旬より、当院で唾液を検体とするPCR検査方法を採用し、検体を検査機関(SMS)に提出し、確定診断を行いました。PCRの検査結果報告は翌日の午前中に得られ、福祉センターに報告しました。

2-3) 当院での発熱外来の検査成績:(図2)

①発熱外来の受診者数は、7~23(平均12名)/月でした。当然ながら第3波・第4波・第5波に一致して受診者が多かったです。

②PCR検査は、発熱外来受診者の約1割の18名に実施し、5名が陽性者(陽性率:28%)でした。いずれも軽症者で入院治療した方は、いませんでした。

図1 COVID-19 新規感染者数グラフ(厚労省)



図2 発熱外来(2020/12~2021/12)でのPCR検査結果

	発熱診療 等外来 受診者	各医師会 PCR		大久保病院 PCR		
		検査数	陽性数	検査数	陽性数	
2020/12	22	0	0			
2021/1	3波	23	3	1		
/2		12	1	0		
/3		18	2	0		
/4		9	3	1		
/5		3	2	0		
/6	4波	20	0	0		
/7		7	0	0		
/8		13	2	1	4	1
/9	5波	8	0	0	1	1
/10		11	0	0	0	0
/11		7	0	0	0	0
~12/10		5	0	0	0	0
合計		158	13	3	5	2

3) 発熱外来を続けて感じることに:

3-1) PCR検査をする人を、診察前の問診表での内容により決めてきましたが、重要視した項目は以下の3つです。

- ① 流行状況の把握
- ② 症状発症前1週間の行動様式
- ③ 症状の経過と重症感

当院の発熱外来は、症状を有した新型コロナウイルス感染症の診断に対応しておりますが、無症状の方や濃厚接触者での本症の診断には対応していません。更に診断された患者の治療に携わっていませんので、中途半端な状況制となっております。今後の治療体制の在り方を悩んでいます。

当院はユニセフ活動に協力しています。皆様より頂いた令和3年7月1日より令和3年12月20日までの募金6,075円をユニセフ協会に送金しました。新聞をお持ちになる方はコピー代として募金活動にご協力下さい。